

AEO – 認定された経済事業者制度

主要課題

2017年11月



Agenda



1. 企業の懸念事項
2. 弊社のプロセス監査経験に基づく見解
3. リスク管理に関する分析
4. QAA（自己評価質問表）作成に際する主要課題
5. リスクマップ作成に際する主要課題
6. 伯国税庁と申請者：申請書の共通ポータルサイトでのフォロー
7. 伯国税庁：2018年に予測される改訂

企業の懸念事項

- 企業情報へのアクセスにおける国税庁の姿勢に関する懸念。
- 認定申請の提出エビデンスで内部プロセスの欠陥や脆弱性が認められた場合の通関への悪影響に関する懸念。
- AEOプロジェクトの複雑性とそれに対応する十分な社内要員の有無に関する懸念。
- 新制度に適合するための多額の投資に関する懸念。

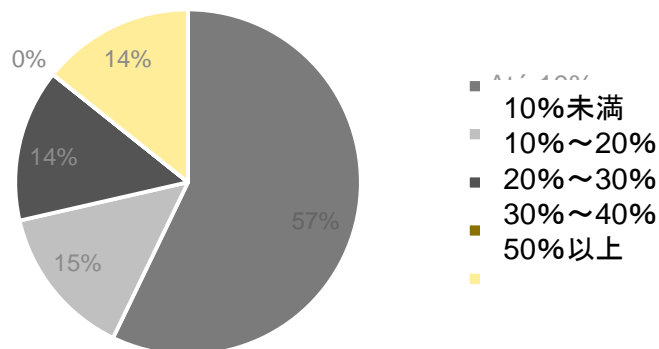


弊社のプロセス監査経験に基づく見解

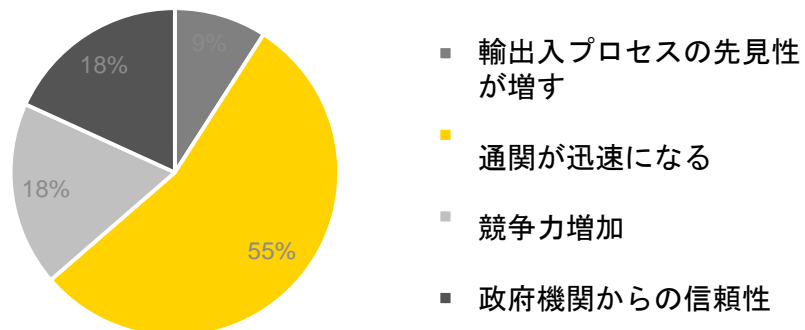
- 国税庁は検査的姿勢よりもコンサルティング的姿勢をとっています。
- AEO認定申請プロセスで国税庁が認識する事業者のプロセス的欠陥については、アクションプランで納期を設けて対応するので、貿易オペレーションに対する損害は発生しません。
- 準備作業の大半は外部コンサルタントに委託されており、事業者の役割は疑問に答えることと書類の提供です。
- 投資は必要になりますが、すでに貨物の安全および準拠性に重点をおいて取り組んでいる企業へのコストインパクトはさほどではないと考えます。

弊社のプロセス監査経験に基づく見解

国際プロセスコストにおけるセービング率

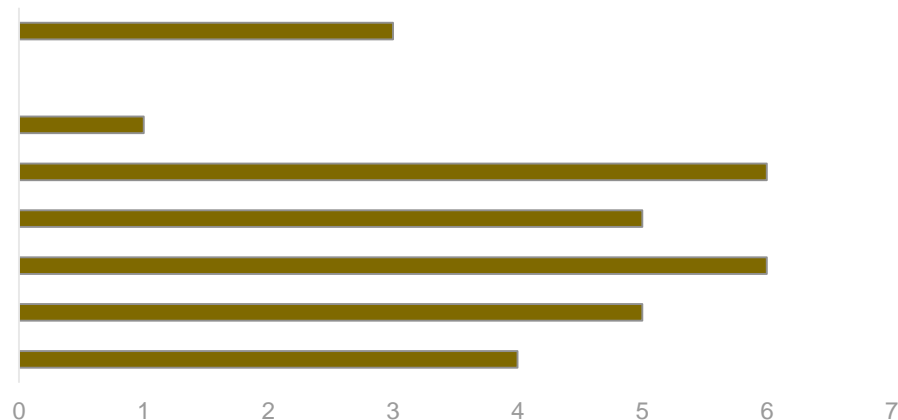


AEOがオペレーションに不可欠な理由



もっとも重要な恩典

- 安全在庫ならびに在庫コストの低減
- 税務分類の問い合わせに40日以内で回答が得られる
- 承認機関からの差別化対応
- 国税庁ストライキ期間中も通常オペレーション継続
- 貨物の一発合格で迅速性向上
- グリーンチャンネルの可能性アップ
- 検査員とのコミュニケーション
- 財務コスト節約



弊社のプロセス監査経験に基づく見解

AEO事業者認定取得後の社内における主な文化変容を尋ねたところ、以下のような回答が得られました。

- 「すべての部署および協力会社（通関代行業者、運送会社等）があらゆるプロセスが正しく運用されるべくディテールに気を配るようになりました。」
- 「本社はすでにAEO事業者です。社内的には（認定前と同じ）コンプラのプロシジャーを維持していますが、併せてAEO委員会を立ち上げました。」
- 「貿易業務のコンプラ強化のために一部のプロセスは修正あるいは強化されました。」
- 「税務部のプレゼンスが増しました。」
- 「社内のコンプライアンスは通関業務の様々な側面を重視して、会社の方針としてモニタリングしています。一方、AEO認定制度は更に特定のポイントを詳細にするとともにリスク管理の視点を追加します。認定にあたり、特にロジスティック部門と警備部門が業務の見直しを必要としました。」
- 「弊社にはかねてからコンプライアンスに関する問題意識はあり、ブルーライン認定そしてAEO認定取得に際してその点に関するコミットメントが顕著に現れました。コンプライアンスに関しては全部署が同様に責任を負いますが、AEO制度に特化すると貿易および国際業務 (comex、ロジスティック、製造、税務)が重点部署となり特定のコントロールを用いて、AEO制度の所管部署の貿易部チームから内部監査を受けます。」

リスク管理に関する分析

AEO認定は申請事業者が貿易操業に介在するリスクを最小限するために採用するプロセスを評価する。

第12A条 - ブラジル国税庁訓令1598/15 - 国税庁訓令1736 - 12/09/2017により改訂

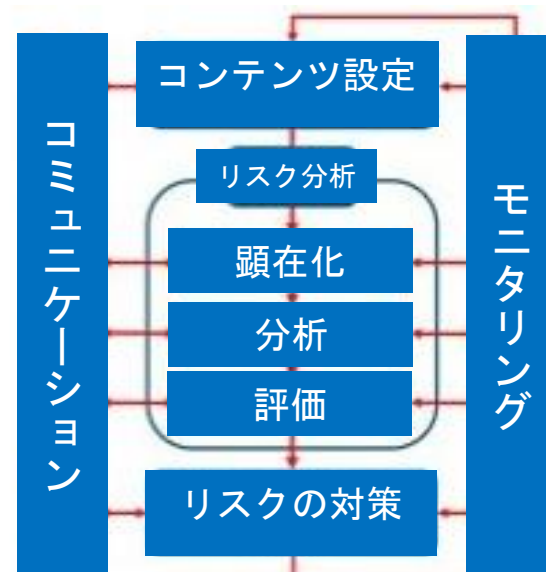


**Gestão de
Risco**
ISO 31000:2009



ASSOCIAÇÃO
BRASILEIRA
DE NORMAS
TÉCNICAS

ISO 31000
RISK MANAGER



QAA（自己評価質問表）作成に際する主要課題

EXCELLENT



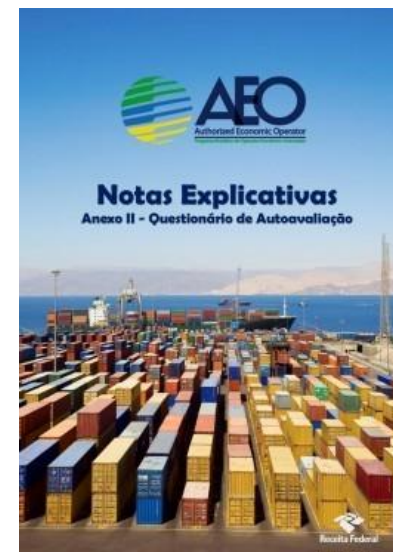
EY

Building a better
working world

自己評価質問表－QAA

QAAと略称される自己評価質問表は、AEO認定希望者がブラジルAEO制度が要求する要件および基準に対応するための指針となると同時に、AEOセンターの国税庁職員の申請書審査のツールの役割も併せ持ちます。分析は批判的かつ包括的に、現実的かつ実証可能な回答で行い、正当な自己評価となることが不可欠です。

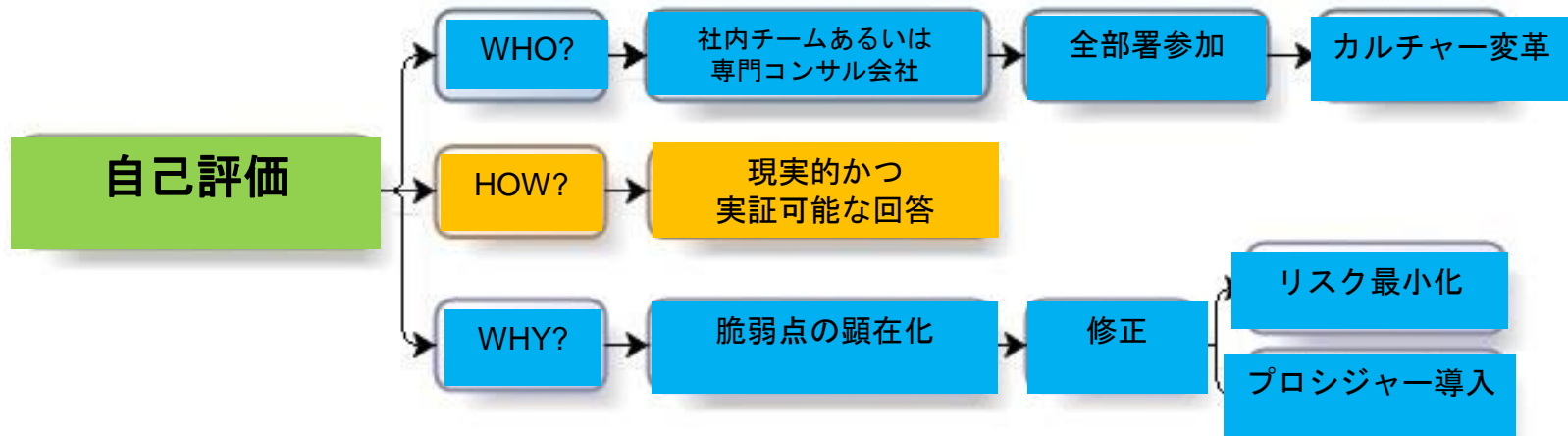
分析に際して、往々にして国税庁が期待し必要とする回答を見出すことは中々困難です。弊社では国税庁が出すガイドラインおよび実際の国税庁との話し合いで得られた経験と知見をもとにお客様に対して最善の方針をお示ししています。



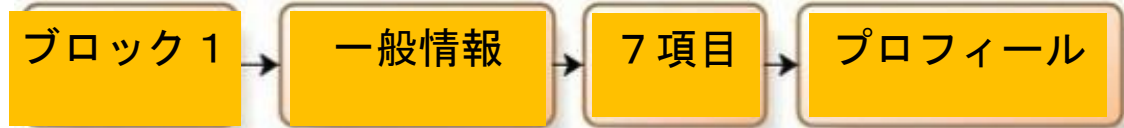
自己評価質問表－QAA

現状分析と貿易操業に介在するリスクの最小限化を図るために自己評価は必要です。

よく言われることはAEOに認定されるだけでは不十分で、AEO事業者ふさわしくなることが重要です。国税庁が要求するコントロールに対応するために会社全体のカルチャー変革が求められます。



主要課題：自己評価表の情報収集－ブロック 1



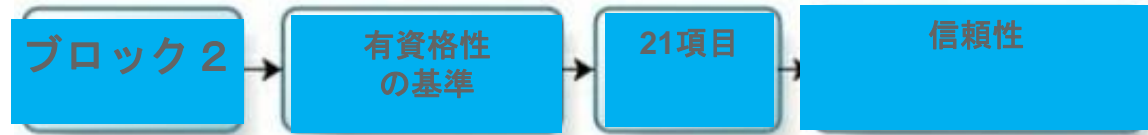
ブロック 1 で特筆すべき質問は1.7の監査の頻度です。

国税庁が極めて重要視する点で、弊社のお客様にも内部、独立監査に限らず監査手順やフローがしっかり定められているかが問われるケースが多々ありました。

内部監査は最低年1回行い、手順を頻繁に評価、継続改善が行われていることが望ましいです。

貿易プロセスに関して定期的な内部監査が行われていませんが、これは輸出入プロセスの抜取分析の導入で対応可能です。

主要課題：自己評価表の情報収集ーブロック 2



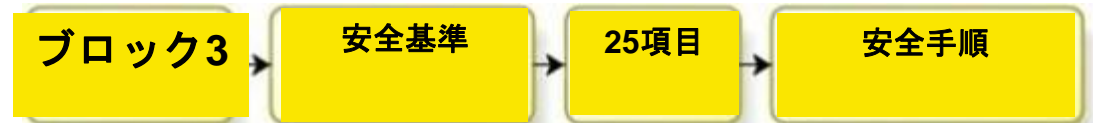
ブロック 2 で特筆すべき質問は**2.5.2.の契約後のフォローアップ**です。

契約後のフォローアップに関する国税庁の指摘のひとつは、契約後の資産推移で「センサス」のような調査導入を求めます。

この設問はかなりやっかいです。なぜなら、目的が給与水準に見合わない資産増加の追及であり、そのためにインターネットやSNSの情報も用いられます。つまり、「センサス」の目的は物流チェーンにおける従業員の契約に関するリスク最小化にあります。

この設問に対応するもうひとつの手段として、最低限人事部による定期的な従業員住所の登録更新を行うことを推奨します。この手段で当該リスクは軽減可能です。

主要課題：自己評価表の情報収集ーブロック 3



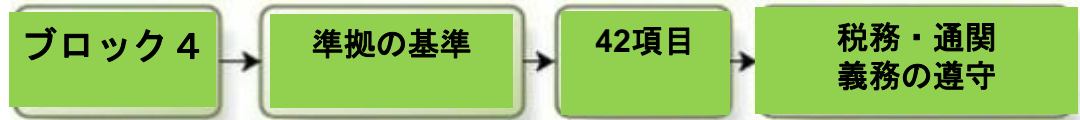
ブロック3で特筆すべき質問は3.4.の安全教育および脅威に関する啓蒙です。

物流チェーンの安全および脅威に関する啓蒙については、元々AEOはヨーロッパ標準であり、従って設問によってはブラジルの現実、文化、習慣にそぐわないものもあり、これらは適用不能と考えます。しかし、国税庁は特にテロ及び密輸（例えば銃器や麻薬）のようなサプライチェーンに対する脅威に関する手順や教育を申請者に対して求めます。

従って、弊社ではお客様に対してサイバーセキュリティー、物流チェーンの健全性、ロジスティック網における脆弱性の顕在化等、安全や脅威に関する啓蒙の教育活動導入を推奨しています。

教育の成果として、従業員はこのような脅威を認知し、早急な解決のための手順を心得、報告ルートを熟知していることが求められます。

主要課題：自己評価表の情報収集ーブロック 4



ブロック4で特筆すべき質問は4.4の人材育成・教育方針です。

申請者は準拠の基準と関係する業務を行う全ての従業員の教育・研修等人材育成の方針を有することを示さねばなりません。同時にそれらの育成カリキュラムが業務の満足な達成に十分な効果を持つかが重要になります。

長年同じ業務を担当する従業員に関して、申請者がリフレッシュ教育や当該業務に関する新しいテーマに関する教育の必要性を見出さないケースを散見します。

従って、教育・訓練の実施とともに、それらの実施記録のエビデンス（実施済みの教育訓練に関してそのスコープ、実施時間数、達成度、実施頻度などのデータを含む記録、社内外の指導者リスト、教育済み従業員リスト、終了証リスト等）を準備することを推奨しています。

リスクマップ作成に際する主要課題

EXCELLENT



EY

Building a better
working world

主要課題：リスクマップ作成のための情報収集

AEO認定申請事業者の通貨リスク管理プロセスの有効性を国税庁が評価する際のツールのひとつにRCV略称される有効化補助レポートがあります。

このレポート作成にあたり、国税庁が示すパラメータに従って企業のリスクを測定するのに困難を感じるお客様が散見されます。

このような場合、国税庁自身の情報に基づき、企業の実際の状況を示すことをお勧めします。このレポートの内容は認定可否を左右するものではなく、例えばオレンジ色や赤色に分類されるリスクも改善導入対象と考慮されれば問題ありません。

ESCALA	PROBABILIDADE DE OCORRÊNCIAS
1 RARA	Ficaria surpreso se ocorresse / pode ocorrer em circunstâncias excepcionais.
2 POUCO PROVÁVEL	Mais provável não ocorrer do que ocorrer / pequena possibilidade de ocorrer.
3 PROVÁVEL	Tão provável ocorrer como não ocorrer / pode ocorrer em algum momento.
4 MUITO PROVÁVEL	Mais provável ocorrer do que não ocorrer / provável que ocorra em várias circunstâncias.
5 QUASE CERTO	Ficaria surpreso se não ocorresse / deve ocorrer em algum momento.

ESCALA	CONSEQUÊNCIA OU IMPACTO DO RISCO
5 MUITO FRACA	Impacto insignificante nos objetivos.
8 FRACA	Efeitos negativos menores nos objetivos.
17 MODERADA	Poderá impedir o alcance de alguns objetivos.
27 MUITO FORTE	Poderá impedir o alcance de alguns objetivos importantes.
40 CATASTRÓFICA	Poderá impedir o alcance da maioria dos objetivos.

CONSEQUÊNCIA PROBABILIDADE	MUITO FRACA (5)	FRACA (8)	MODERADA (17)	FORTE (27)	CATASTRÓFICA (40)
QUASE CERTO (5)	25	40	85	135	200
MUITO PROVÁVEL (4)	20	32	68	108	160
PROVÁVEL (3)	15	24	51	81	120
POUCO PROVÁVEL (2)	10	16	34	54	80
RARA (1)	5	8	17	27	40

NÍVEL DE RISCO	RESPOSTAS
EXTREMO	AÇÃO IMEDIATA E URGENTE.
ALTO	AÇÃO DA ALTA ADMINISTRAÇÃO.
MÉDIO	DEFINIR RESPONSABILIDADE GERENCIAL.
BAIXO	MANTER PRÁTICAS E PROCEDIMENTOS.

伯国税庁と申請者：申請書のフォロー

国税庁が示した改訂事項及びAEOシステム導入の結果、認定申請のステータス追跡はシンプルかつアクセス容易になります。

採用要件審査の次のステップは有資格性、準拠性及び安全に関する基準の審査です。事前に定められた時期が来てもAEOシステムにステータス情報が更新されない場合、AEOセンターに問い合わせることをお勧めします。

国税庁はコンサル会社よりも申請事業者からの直接問い合わせを優先する傾向にあります。



伯国税庁：2018年に予測される改訂

2018年の改訂事項

認定プロセスの簡素化

国税庁は有資格性、準拠性及び安全に関して、その重要項目に重点を置き、審査基準の簡素化を目指しています。

AEOの統合

補足モジュールの追加：農業AEO、その他機関。

AEOシステム

導入済みシステムの機能改善。

AEOの新組織

AEO地方センター新設とプロセスの分配により審査の最適化を図る。





ご清聴ありがとうございました。